

平成 27 年度 アメリカ春期英語研修 報告書

都市教養学部 理工学系 化学コース 3年 太田 結

私は、アメリカのカリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)付属の語学学校の短期研修に参加しました。この1か月は、今までの人生の中で、最も刺激的で最も充実した時間でした。その研修の一部を紹介したいと思います。

サンディエゴ (SAN DIEGO) について

私がアメリカ春期英語研修に応募した理由は、アメリカという国と文化が好きだからでした。今回の研修地のサンディエゴは、温暖な気候で、雨がほとんど降らずとても過ごしやすい場所でした。まぶしい太陽と青い空に、ヤシの木がはえた広い道路に大きなバスが行き交う、そんな景色が印象的な町でした。

カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) は全米でもトップレベルの州立大学として知られています。クラスはレベルによって、いくつかに分けられますが、私のクラスは日本人10人、中国人8人という構成でした。出身国はわずか2か国ではありましたが、なるべく日本人ではなく中国人と英語を使って交流することを心がけていました。その甲斐あって、クラスで友達になった中国人から友人の輪はさらに広がっていきました。授業では、アメリカ式のエッセイの書き方や発音を学びました。また、授業形式としては、グループで話し合う時間が多く設けられていました。宿題量も適量で、そこまで負担にはなりませんでした。



アパートメントがアメリカ研修の宿泊施設でしたが、このアパートメントでの生活が留学生生活を数十倍楽しくさせてくれ、ホームステイでは味わえないような体験をさせてくれました。アパートの部屋では頻繁にパーティーが行われ、友人に誘われたパーティーに参加したり、自分たちで日本食パーティーを主催したりしました。結果的に、パーティーを通じて、クラスメイトにとどまらず、国籍を超え、様々な人と知り合うことが出来ました。

アクティビティーも充実していて、クラスメイトや現地の人と一緒に、サンディエゴのビー

チャロサンゼルスでのディズニーランドやメキシコなど色々な所を訪問しました。



1か月という短い期間でしたが、多くの人と出会い、英語を通じ、一緒に語り、笑い合った時間は、自分の財産となりました。

また、短期研修の経験を、1か月という短いスパンに留まらせるのではなく、今後どう生かしていくかが、大切だと思っています。私の場合は、この1か月を通して、もっとアメリカを知りたい、英語を喋りたい、と強く思いました。だからこそ、私はアメリカでの長期留学に挑戦したいと思うようになりました。

ぜひ興味があったら迷わず挑戦してみてください。